

1. 基盤空間データの為の情報収集更新プロジェクト

本提案は我国の空間データ基盤の鮮度向上にも有効であり、本来、コンソーシアムが目差すものであると考えます。

1. コンソーシアムメンバーの三重県、岐阜県とその配下の自治体の連携による、コンソーシアムの基盤空間データの差分更新システムの共同構築
2. 空間データ更新情報収集手段としての「地元建設・土木企業や施主向けの工程管理システム」のASPサービスシステムの共同構築
3. 尚、自然災害等による空間データの更新情報データの収集は、国土地理院等が作成する航空写真等を利用
を提案します。

(有)空間データサービス 代表取締役 森田 博久

2. 本プロジェクトの基本的なシステムの考え方

- ◆ 地理空間情報活用推進基本法に添った自治体、県、国と連携した、基盤空間データの効率的な提供方式の基盤構築を目差す。
- ◆ 基盤空間データの作製側の編集CADや、GISユーザ側のGISエンジンは既存のソフトの利用を可能とする。
- ◆ 基盤空間データの提供は、空間データベースを経由し、データの更新についてはオブジェクト単位の差分とする。



